

第13期 環境市民会議（第6回） 議事要録

開催日時 令和7年11月14日（金） 18時00分～19時45分

場所 武蔵野市役所111会議室

出席者 鈴木委員長、小川副委員長、小町委員、古後委員、蔦木委員、小餅委員、西村委員、村上委員、佐々木委員、新保委員、関口委員

- 内容
- 委員の就任について
 - 議題：第五期武蔵野市環境基本計画の中間評価について

1 委員の就任について

公募委員の荒井委員の辞退に伴い、新たに佐々木氏及び新保氏に就任いただいた。

2 議題：第五期武蔵野市環境基本計画の中間評価について

発言者	発言要旨
事務局	資料1「第五期武蔵野市環境基本計画の中間評価について」の説明
事務局	資料2「第五期武蔵野市環境基本計画中間評価に係るアンケート調査結果（速報版）」の説明
委員長	<ul style="list-style-type: none">アンケートの手法に対して、市民・事業者向けどちらにも課題があると思われる。市民アンケートの回収率は35%と一般の無作為抽出に比較して高いが、武蔵野市民の意識が高いことを示している。若年層の回答率が低くなっている。回収率の低い世代は発送件数を増やすなど少し工夫をしてもいいのではないか。事業所アンケートの有効回収率28%は低すぎる。また、10人未満の事業所がほとんどで、環境負荷の大きい大企業の意見も集めるべきだ。市内事業者には直接ヒアリングしてもいい。
A委員	<ul style="list-style-type: none">「全く知らない」の回答割合が多い。「あらゆる人を環境の当事者に」という全ての環境方針の共通前提に対して、この結果なので、市民への情報発信・啓発の仕方が今まで通りではいけないのではないかと思う。ヒアリングをやったらどうかという委員長意見に同意だ。アンケートを送付して終わりにするのではなく、結果を題材にして市民に意見や感想を聞いてみてはどうか。アンケートの結果について、回答してくれた市民へのフィードバックはおこなうのか？
事務局	無記名回答のため、直接フィードバックすることは難しいが、結果は公表する予定である。
B委員	アンケートに自由記載欄はあるのか？そこから得られるヒントはある。どんな自由意見があったか知りたい。
事務局	本日、資料としてお示しできないが、集計はしている。
C委員	企業向けにアンケートを行う場合、会社名と担当者を記入してもらい、返ってきた内容に対して、さらなるヒアリングをすることが多い。本アンケートには自由意見を記載する欄がないようにみえるがいかがか。
事務局	速報版には掲載していないが、「武蔵野市での環境への取組に対するアイデア・提案があれば、お書きください。」という形で欄は設けている。

C委員	<p>・武蔵野市民は環境に関する意識は高いが、具体的に何をやったらいいかわからない人が多い。LINEやXなどでの情報発信を強化すべきだ。</p> <p>・講演会等の人気がないと結果がでていないが、人気のイベントもあるので工夫次第だ。</p> <p>むさしのエコreゾートの利用者の満足度は高いが、利用していない人が多いため、二極化している。</p>
委員長	<p>・武蔵野市には致命的な環境の課題はない。自分の興味があることについては知っているが、興味ないことは知らないことが多い。幅広い内容のアンケートからどう読み取るか事務局で検討すること。</p>
事務局	資料3「環境方針別施策評価」の説明
A委員	<p>環境方針5（公害・災害）の考察について、太陽光発電設備の設置が、市内住宅の災害に対するレジリエンスに寄与しているというが、太陽光発電は不安定で、夜間は0%、昼間であっても曇りの場合は20%と発電効率が落ちる。環境方針1の地球温暖化対策としてはいいが、災害の分野で不安定な電源を対策としてあげるのは疑問だ。</p>
委員長	<p>平時と非常時で評価が分かれる項目はある。そのあたりは吟味してもいいかもしれない。</p>
D委員	<p>・大きな環境変化がないため、方針の見直しを行わないという前提になっているが、昆明・モンテリオール生物多様性枠組が採択され、30by30という2030年までの目標がたてられた。これを受けて、国や都が動いているが、市では変化がないとするのはいかがなものか。2030年までの目標については、今回見直さないと間に合わないのでは。</p>
事務局	<p>・条約や国の方針の変化について、プラスチック新法の施行など他にも法令等が変わったものはいくつかあるが、冒頭で説明した通り、環境基本計画は方向性を示すものである。細かな施策はあくまでも例示であるため、後期はどういう視点で取り組んでいくべきかをまとめていただきたい。</p> <p>・個別計画との整合性も図っていく必要がある。</p>
E委員	<p>・資料3の評価基準について、「○」がついている施策でほぼ満足以上で50%を超えるものがほとんどないが、アンケート調査はどれくらい考慮されているのか。</p>
事務局	<p>・想定している施策がどう進められたかを評価しているのでアンケート調査と直結はしていない。</p> <p>・市民アンケート調査は施策を知っているかという前提がある。認知度が低いものほど結果を反映しづらい。</p>
委員長	<p>・アンケート結果を鵜呑みにするのもよくないので、事務局の判断でよろしい。事業の遅れがあるものなどは指摘してもいい。ここにアンケート調査結果を入れてしまうとミスリードになる可能性がある。</p>
F委員	<p>・資料3の6ページ「ペットの位置づけ～」について。現在、ペットは15歳以下の子どもの数より増えており、ペットを家族として認識している人も多い。ペットや動物について方針5（公害・災害）に分類されていることに違和感がある。野良猫については、環境方針3（自然環境）、ペットについては方針5（都市環境）の分類になるのではないか。</p>
委員長	<p>・全部を普遍的に載せているわけではなく、課題解決の視点で掲載している。課題として抽出されたときに初めて社会的問題になる。ペットについては、災害等発生時にどう守るかが非常に課題となるため、方針5に記載されている。</p>
F委員	<p>・環境基本計画は10年間の計画だが、ペット問題等は2～3年で大きく変化がある。新たな視点を取り入れて計画が途中で変わることはあるのか。</p>
委員長	<p>・それが中間評価を行う目的である。社会情勢の変化があれば計画の見直しを行うし、上位計画の長期計画が変われば環境基本計画にも反映される。</p>
B委員	<p>・太陽光発電設備のレジリエンスの視点について。太陽光発電設備は確かに不安定であるし、FIT制度も買い取り価格が下がっている。蓄電池とのセットが有効である。近年の近隣自治体での補助実績は4倍になっている。市がセットでPRすればレジリエンスにつながるのではないか。</p>

委員長	・太陽光の不安定さは蓄電池でカバーできる。災害時にあわてふためいて対応する方がコストがかかる。そのために新築住宅の太陽光の義務化等、平時に設置コストをかけている。市民に向けて広報してあげることが大切だ。
G委員	・定性的な評価という断り書きが資料1にあるにもかかわらず、実はかなり定量的な内容を含んでおり、すべて定性的というのは整合性がない。資料3の2ページ目、目標値に対して大きく下回っていると書きながら評価を○としているのは、お手盛りと判断されないか。もう少しシビアに自己評価した方がいい。
委員長	・資料3について、アンケート結果調査結果より次回に向けた課題をほのめかした方が次回につながるのでは？次回の委員会までにこれを補完する資料を用意して欲しい。
A委員	森林環境譲与税とはどのような税か？1人年額1000円分をどうやって徴収しているのか。
事務局	住民税の均等割課税対象者から徴収されている。
F委員	資料6 4-7 動物の相談支援事業は全国的にみても珍しい取組だ。7市で実施している自治体はどこか教えて欲しい。
事務局	現時点でお答えできないので確認し、次回お知らせする。
C委員	・資料3 4ページ 環境方針3記載の「水収支」について、他の市町村で昭和20年を目標にしている自治体はあるか？ ・またどうやって計算するのか。
委員長	・武蔵野市の水が下流に流れると、下流地域で洪水のリスクが発生する。流出係数を増加させないことは大事である。
C委員	・雨水浸透ますやレインガーデンなど、武蔵野市はグリーンインフラの観点では進んでいると思う。努力していることはアピールするべきだ。
B委員	・市民アンケート調査結果で、「環境に配慮した製品サービス」を選択している方が56%いて、非常に多いと思った。企業も社会貢献、環境貢献でやり方を探している。ニーズとシーズがマッチすると思うのでそれぞれwin-winになるのではと思った。

3 その他： 14期の委員継続の確認について

事務局	<p>・先日の第5回環境市民会議の資料3でご案内したとおり、第14期環境市民会議の委員は、原則として第13期委員の皆様にも再任をお願いしたいと考えている。ただし、公募委員についてはA委員より「できる限り多くの市民が関わるべき」という貴重なご意見を頂戴したことから、現職の市民委員については、現任期満了後の再任は行わず、新保委員と佐々木委員のお二人に再任をお願いしたい。</p> <p>・再任について辞退や団体内での推薦者の交代等を希望される場合は、ご連絡いただきたい。</p> <p>・次回は1月中旬に開催を予定している。議題は、環境基本計画の後期に向けた課題や後期施策の方向性を修正するにあたってのポイントについてお諮りする。</p>
-----	--